

- 吹田第六小学校で、平成19年10月の1ヶ月間にわたって、南吹田地域のまちづくりを4年生の授業のテーマとして取り上げていただきました。
- 授業では、将来を担う子どもたちに、将来のまちの姿を描いてもらうことを目的として、まちのことに目を向けてもらい、3~4人のグループに分かれて、次のようなプログラムに取り組んでもらいました。

①南吹田まちまち探検隊

南吹田地域のまちを歩いて、まちの「ええところ」、「わるいところ」、「気になるところ」を見つけて、写真を撮りました。

①



②「まち調査マップ」づくり

まちの写真を地図の上に整理して、「まち調査マップ」をつくり、地図を見ながら、南吹田地域が「こんなまちになったらいいな」ということを考えました。

②



③まちの設計図づくり

南吹田地域が「こんなまちになったらいいな」、「こんな場所があればいいな」ということを設計図にまとめました。



④まちの模型づくり

設計図にしたがって、まちの模型をつくりました。模型をつくるなかで新しいアイデアも出てきました。

⑤発表

グループごとに作業過程を示しながら発表しました。

③



④



⑤



ご協力いただいた吹田第六小学校4年生のみなさん、先生方、ありがとうございました。

編集後記

まちづくり会議では、毎回、活発な話し合いがされています。参加している方々の、まちづくりへの熱意が感じられます。住民のみなさんのまちに対する思いが十分に盛り込まれたまちづくり構想を、まちづくり会議にて取りまとめていきたいと考えています。第6回まちづくり会議に積極的に参加していただき、より良いまちの実現のため、アイデアをお待ちしています。

このまちづくり通信は、南吹田地域のまちづくりに関する情報を地域に関わる方々と共有するためのリーフレットです。

【発行】
吹田市都市整備部都市整備室
都市計画(計画・企画)担当

住所 〒564-8550
吹田市泉町1丁目3番40号
電話 (06)6384-1946
FAX (06)6368-9901
メールアドレス tosiseib@city.suita.osaka.jp
ホームページ URL http://www.city.suita.osaka.jp

●南吹田地域まちづくり会議を開催しています

南吹田地域は、平成23年度末完成予定のおおさか東線(大阪外環状線鉄道)の新駅設置や、周辺の幹線道路の整備等が進み、利便性が飛躍的に高まることとなります。当地域が本市の南の玄関口となるため、駅前にはふさわしい魅力的な都市環境の形成を図ることが強く求められています。

吹田市では、今年度(平成19年度)、市民意向を反映させながら、「南吹田地域のまちづくり構想(以下、まちづくり構想)」を取りまとめるために、市民の皆さんと南吹田地域のまちづくりについて話し合う協働の場として、「南吹田地域まちづくり会議(以下、まちづくり会議)」を設置し、話し合いを進めています。次の頁以降に、これまでのまちづくり会議の概要を紹介しています。



第6回まちづくり会議開催のご案内

まちづくり会議では、より多くの住民の方の意見を構想づくりに反映させるために、第4回に引き続き、第6回も、広く市民の方から参加を募り、市民ワークショップとして開催します。

ぜひ、ご参加
ください!



南吹田地域のまちづくりに
関心のある方ならどなたでも参加できます。

- ◆日時：平成20年1月24日(木)午後7時~午後9時
- ◆場所：(株)NEOMAX マテリアル厚生センター(南吹田2丁目17-10)
- ◆内容：「南吹田地域まちづくり構想(素案)について」
- ◆その他：申し込み不要。駐車場はありません。

問い合わせ先：吹田市都市整備部都市整備室都市計画(計画・企画)担当
電話：(06)6384-1946 FAX：(06)6368-9901

●これまでのまちづくり会議

まちづくり通信 Vol.4以降に、第4回、第5回まちづくり会議を開催しました。

第1回（平成19年7月21日（土）開催） 現地確認

第2回（平成19年8月30日（木）開催） まちの課題再確認

第3回（平成19年9月27日（木）開催）南吹田地域がこんなまちになればいいな

第2回で出された意見を「南吹田地域のまちの課題」として踏まえた上で、「どのようなまちになればよいか」「どのような施設や機能が必要か」といったテーマで話し合いました。

第4回～市民ワークショップ～（平成19年10月17日（水）開催）

「南吹田地域のまちの将来像」

8つのグループに分かれ、たくさんのイメージ写真の中から、「南吹田地域のまちがこんなまちになればいいな」と参加者が考えているイメージに、最も近い写真を選びながら、「まちの将来像」について話し合いました。

■ワークショップで出たまちづくりの主な方向性

- ◆まちづくりを人づくりから
子ども達の笑顔をつくるまちづくり
- ◆<やさしい>福祉のまち 環境、健康づくり
- ◆人の顔が見えるまち
- ◆ふれあい、人に会えるまち
- ◆水と緑と人の集まるまち
- ◆すべての人がいきいきかがやくまちづくり

■ワークショップで選ばれたイメージ写真（一部）



きれいに整備された
使いやすい駅前広場に



一息つける場所がある
お年寄りが集まれる場所



子ども達が安心して遊べるまち



水に親しむ
神崎川河畔の遊歩道



きれいな街路樹
歩きたくなるみち

「まちづくり構想」（たたき台）

これまでのまちづくり会議での意見を、「まちづくり構想（たたき台）」として整理しました。

第5回（平成19年11月29日（木）開催） 「まちづくり構想に想いを盛り込もう」

「まちづくり構想（たたき台）」について、グループに分かれて意見を出し合いました。意見交換では、「自分たちでできること」「行政主体で進めること」「住民と行政が協働で進めること」といった役割分担も意識して、話し合いを進めました。

■まちづくり構想（たたき台）で整理した「まちの方向性」とワークショップで出た主な意見

*まちづくり構想（たたき台）は、6つのまちの方向性に整理しています。

鉄道は、盛土構造でなく「高架式」で整備を。

まちの方向性1

◆人の行き来がしやすいまち

鉄道は予定通り平成23年度に完成させる。

小さくてよいからバスの本数を確保する。

- ①おおさか東線及び新駅の整備
- ②新たな地域分断とならない鉄道計画
- ③地域と周辺のまちをつなげる道路の整備
- ④周辺のまちとつながる路線バスの導入
- ⑤便利で利用しやすい駅前広場の整備
- ⑥駅周辺での自転車駐車場の整備
- ⑦みんなが安心して歩ける道づくり

駐輪場などを地下にして青空いっぱいの駅前広場

駅前に地域の催しができる集会所を。

まちの方向性2

◆住んでいる人、働いている人が安心して、便利に楽しく過ごせるまち

住民みんなでゴミ拾いをしよう。

- ①住みやすい環境を守るためのルールづくり
- ②便利に暮らせる商業施設、公共施設等の立地
- ③暮らしの安心感を高める施設の立地
- ④子どもからお年寄りまで誰もが使いやすい公園整備

住民のみんなで話し合い規制のルールをつくろう。

多目的広場として住民で管理運営できないか。

まちの方向性3

◆働く場もある活力のあるまち

企業を活かしたまちづくり

- ①住宅と企業が共存したまちづくり
- ②地域の一員としての企業活動
- ③住環境に配慮した操業の継続
- ④企業活動を地域にPRする取り組み

お店や飲食店を誘致しよう。

市民と企業が交流発信

まちの方向性4

◆花や緑がいっぱい美しいまち

住民一人一本ずつ木を寄付して並木道づくり

- ①散歩したくなる並木道づくり
- ②住宅地での緑や花のあふれるまちなみづくり
- ③幹線道路沿いの美しい景観づくり
- ④緑や花のあふれる公園づくり
- ⑤緑や花のあふれる駅前広場づくり

各家庭で花を植え、助成金を使って垣根をつくる。

ボランティアで公園の花や緑の管理をしよう。

昔を思い出す水車のあるまちづくりにしよう。

まちの方向性5

◆地域の風土に親しむまち

地域コミュニティを育てる「きっかけづくり」も大切。

- ①神崎川沿いのうらおいある空間形成
- ②神崎川を活用したまちづくりイベント
- ③農業の歴史を留め伝える取り組み
- ④地域の個性を表現し、市民が愛着を持って利用する新駅の整備



吹田クワイを子どもに伝えよう。

新しい住民にも自治会に入ってもらえるようにしよう。

まちの方向性6

◆ふれあい・憩う・笑顔のまち

- ①地域コミュニティを育てる場づくり
- ②よりよいまちにするための「まちづくり活動」
- ③防犯や、生活マナー向上への地域活動

登下校時に外に出て、子供の安全を守ろう。

第6回 ～市民ワークショップ～（平成20年1月24日（木）開催予定）

これまでの市民意向を反映した「まちづくり構想（素案）」について話し合います。

第7回（平成20年2月20日（水）開催予定）

「まちづくり構想（素案）」の確認をし、今後のまちづくりについて話し合います。